

畜産茨城

第488号

令和3年1月29日

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人 茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／八木岡 努

目次

年頭のごあいさつ……………	1	第64回茨城県肉用牛共進会	
畜産経営に起因する		中村公徳さんが名誉賞を受賞!! ……	7
臭気低減対策の取組事例について…	2	令和2年11月市況 ……	8
第22回 県南肉用牛枝肉共励会が		肉用子牛生産者補給金発動状況 ……	8
開催されました…	3	令和2年12月市況 ……	9
動画視聴による高病原性鳥インフルエンザ		牛マルキン事業発動状況 ……	9
防疫演習を実施しました ……	4	令和2年度全国優良畜産経営管理技術	
黒毛和種性選別精液を用いた		発表会で優秀賞・農林水産省生産局長賞を受賞…	10
体内受精卵採取における受精率向上方法の検討 ……	6		

謹賀新年

年頭のごあいさつ



公益社団法人茨城県畜産協会
会長 八木岡 努

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、本協会の事業推進につきまして、多大なるご支援とご協力をいただきまして、心から感謝を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くなか、豚熱、鳥インフルエンザなど隣接県においても発生し厳戒態勢が続くな

ど、家畜伝染病の対応に追われた年でもありました。また、グローバル化への対応とともに、ポストコロナを見据えた新たな事業展開も求められるなど、本協会の果たす役割はますます大きくなっています。

このような情勢のなか、本年も県・関係団体と連携・協力し各種支援対策に役職員一丸で取り組んでまいりますので、一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

今年の干支は丑年ですが、新たな発展に繋がる年になるといわれているそうです。コロナが一日も早く終息し、穏やかで希望に満ちた年になることを心から願うものであります。

最後に、皆様のご健勝とご発展を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立てられています

畜産経営に起因する臭気低減対策の取組事例について

茨城県鹿行農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課

(背景)

県内の畜産農家戸数に占める畜産環境に関する苦情発生件数の割合は近年6%前後で推移しており、中でも悪臭に関する苦情は6割を占めています。1戸当たりの飼養規模が拡大していることや地域の混住化が進んでいることから、今後の畜産経営における臭気低減はますます重要な課題となっています。

(臭気低減対策事業について)

当県では、令和元年度から臭気低減対策事業の取組を開始しましたので、その概要を紹介します。

本事業では、簡易臭気測定器を用いて畜舎や堆肥舎周辺の臭気を測定することで、発生源を特定します(※)。臭気を数値で把握できるので、畜産農家が、より効果的な対策を検討し、実施することが可能となります。

臭気低減対策脱臭資材の支援もありますので、臭気対策等を検討されている畜産経営者の方は、近隣の市町村や農林事務所まで気軽にお問い合わせください。



簡易臭気測定器



臭気測定風景

(取組事例紹介)

今年度、鹿行管内で臭気低減対策を実施しているY養豚場の取組事例を紹介します。こちらの農場にて、簡易臭気測定器で臭気強度を測定したところ、農場内の開放型発酵処理施設の出入口付近の臭気強度が最も高いことが分かりました。特に、攪拌機が稼働している時間帯につ



臭気発生様子



シート取り付け作業の様子

いては、強い臭気が発生しやすいようです。

そこで、経営者の方と具体的な臭気低減対策方法の検討を行った結果、開放型発酵処理施設の内部に臭気分解メッシュシートを設置することとなりました。このシートは悪臭のもととなるアンモニア等の臭気分子を分解する粉末が練りこんであり、臭気分子がシートに接触すると吸着・分解する仕組みで、このシートを施設内部の壁面に設置し、発生した臭気を吸着させます。このシートは汚れたら洗浄することで2～3年程度繰り返し利用することが可能です。



臭気分解メッシュシート



シート取付後
(令和2年12月設置)

(今後の予定)

今後は定期的に処理施設周辺の臭気強度を測定し、設置前の臭気強度と比較することで、臭気低減効果を検証していく予定です。本事業を通して、臭気低減対策の確立を進めていき、環境に配慮した畜産経営を目指していけるよう引き続き支援していきます。

※簡易臭気測定器により臭気強度を測定するものであり、悪臭防止法に定められた臭気指数を測定するものではありません

第22回 県南肉用牛枝肉共励会が開催されました

茨城県県南農林事務所 企画調整部門 振興・環境室 畜産振興課

令和2年11月16日(月)～19日(木)、県南肉用牛経営技術研究会(会長：塚田浩一氏)主催の第22回県南肉用牛枝肉共励会が、株式会社茨城県中央食肉公社において開催されました。

当研究会は、つくば市や石岡市、稲敷市など、県南地域の肉用牛生産者21名で構成され、研修会や共励会の開催を通じて肥育技術の研鑽に努めています。共励会は、その成果を競う場で、今回は、丹精込めて育てられた和牛21頭(去勢19頭、雌2頭)が出品されました。

格付けの結果は、出品された枝肉のすべてが歩留等級Aであり、A-5が17頭、A-4が3頭と、出品牛の95.2%が常陸牛に該当する素晴らしいものでした。

厳正な審査の結果、最優秀賞にはつくば市の酒井克己氏の枝肉が選ばれました。枝肉総重量554.5kg、胸最長筋面積72cm²、ばらの厚さ11.8cm、皮下脂肪の厚さ3.7cm、B.M.SはNo.12であり、高い評価を得ました。また、優秀賞には、牛久市の栗山元昌氏、石岡市の島田清氏の枝肉がそれぞれ選ばれました。



受賞された方々



授賞式

量554.5kg、胸最長筋面積72cm²、ばらの厚さ11.8cm、皮下脂肪の厚さ3.7cm、B.M.SはNo.12であり、高い評価を得ました。また、優秀賞には、牛久市の栗山元昌氏、石岡市の島田清氏の枝肉がそれぞれ選ばれました。

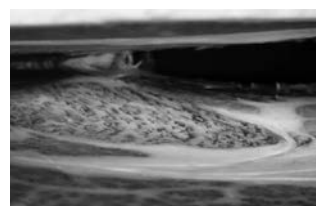
受賞された方々大変おめでとうございます。

現在、子牛価格や飼料価格の高騰に加え、新型コロナウイルスの影響など、肉用牛生産をとりまく環境は大変厳しい状況が続いています。本共励会は、会員の牛肉生産技術や意欲の向上、買参人へのPRなどの効果があったものと思います。

当研究会では、今回の成果を励みに、今後も会員同士が切磋琢磨し、さらなる肥育技術の向上を目指していただきたいと思います。来年度も盛大に共励会が行われることを期待します。当課としても、県南地域の肉用牛生産の振興を図るため、引き続き支援を行ってまいります。



セリ場での塚田会長挨拶



最優秀賞の枝肉断面

<第22回 県南肉用牛枝肉共励会結果>

褒賞	受賞者	性別	父	母の父	枝肉重量(kg)	格付	単価(円/kg)
最優秀賞	酒井 克己 (つくば市)	去勢	幸紀雄	安福久	554.5	A-5	2,884
優秀賞	栗山 元昌 (牛久市)	去勢	美津照重	百合茂	514.0	A-5	2,528
優秀賞	島田 清 (石岡市)	去勢	美津照重	百合茂	537.0	A-5	2,604

動画視聴による 高病原性鳥インフルエンザ防疫演習を実施しました

茨城県県西家畜保健衛生所

はじめに

茨城県では、高病原性鳥インフルエンザや口蹄疫等の特定家畜伝染病の発生に備えて、毎年、現地対策班を構成する県農林事務所、市町村、保健所、警察署および家畜保健衛生所等の関係機関職員を対象として、万が一の発生時に初動防疫がスムーズに行えるよう、地域ごと（県北・県央、鹿行、県南、県西）に『防疫演習』を開催しています。

しかしながら、今年度は全国的な新型コロナウイルスの感染拡大があり、茨城県でも3月に感染者が確認され、その後も感染が収まらなかったため、人が集まることで感染拡大の可能性がある従来行ってきた「体験型の防疫演習」は中止し、「動画視聴型の防疫演習」を実施することとしました。

動画撮影について

動画は香盤表に基づき4本作製しました。

①畜産関係車両の消毒を行う『移動規制グループ消毒ポイント編』では、車両の誘導、車両内外の消毒、動力噴霧器の作動方法、必要書類の作成等を、②動員職員の受入場所となる『防疫支援グループの防疫支援センター編』では、受入準備、動員の人の誘導、センター内での作業内容等を、③発生農場での作業を想定した『発生地グループの家畜処分係編』ではケージ式鶏舎での殺処分の流れ、鶏舎外での梱包作業の流れを、さらに④防疫作業を行ううえで重要となる『防護服の着脱の仕方』についても防疫支援センターでの着衣、農場での作業前の着衣、農場での作業後の脱衣、防疫支援センターでの脱衣方法を撮影しました。

撮影は8月の残暑厳しいなか、冷風機や保冷剤を首に巻き付けるなど熱中症対策を取りながら、農林事務所、畜産課、畜産協会および家畜保健衛生所の職員が名俳優となり、プロのカメ

ラマンに撮っていただきました。

その後、作業説明シナリオをプロのナレーターに撮影動画にあわせてアテレコしていただき、字幕スーパーを入れ、校正を繰り返しながら、10月末にようやく動画が完成しました。（下記写真参照）



高病原性鳥インフルエンザ 防疫措置の概要

令和2年Ver





さらには、例年全体研修として使用しているスライドにも説明のナレーションを入れ、『令和2年度版 高病原性鳥インフルエンザの概要』として作成しました。

出来上がった動画4本とスライド1本はYouTubeへ投稿し、毎年防疫演習に参加していただいている関係機関の皆様にQRコードを配

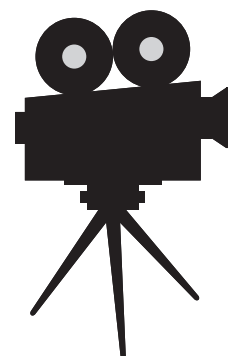
布、各自自由に閲覧してもらう形で研修していただき、一番多い動画の視聴回数は1,525回となりました。

また、閲覧終了後には電子申請サービスを利用してアンケートに回答してもらうことで完全に3密を回避した形での防疫演習を実施することができました。

アンケートは県庁および管轄家畜保健所ごとに集計しました。県西家畜保健衛生所の集計結果では、アンケート回答は103名であり、昨年よりも20名ほど多く演習を受けてもらうことができました。アンケートの意見では、今回の動画視聴形式の防疫演習について「理解しやすかった」、「自分の空いた時間に視聴できる」、「疑問に思ったら動画を止めて理解するまで繰り返し何度も視聴できる」等、大多数の方から好評でありましたが、一部の視聴者からは「動画が途中でフリーズしてしまい、全部見終わるまでに時間がかかった」、「やはり実際に体験してみなかった」との意見もあったため、来年度以降、これらを改善しながら今後の防疫演習のあり方について検討を重ねていこうと思います。

終わりに

現在、国内では昨年11月以降、家禽で14県34事例、野鳥で10道県25事例の高病原性鳥インフルエンザの発生・確認がされています。いっどこで発生があってもおかしくない状況です。養鶏農家さんとの情報共有に加えて、関係機関との連携強化を図り、万が一に備えていきたいと思っています。



黒毛和種性選別精液を用いた 体内受精卵採取における受精率向上方法の検討

茨城県畜産センター 飼養技術研究室 受精卵供給センター

1. はじめに

本県では銘柄畜産物である常陸牛のブランド力向上のため、品質向上とともに優良雌牛の増頭及び肥育素牛の生産拡大が求められています。そのため、乳用種や交雑種の借り腹を利用した黒毛和種受精卵の移植や、人工授精の受胎率が年々低下している問題への対策の一環として受精卵移植が行われており、黒毛和種受精卵の需要が高まっています。一方、繁殖農家では繁殖牛として供用可能な雌牛を確保し、肥育農家では雌牛と比較して増体が良い雄牛を確保することがそれぞれ必要です。これらの理由により、雌雄を選択的に生産可能な性選別精液を用いた受精卵の生産供給が求められていますが、性選別精液は通常精液と比較すると受精率が低いという問題があります。そこで本研究では、黒毛和種体内受精卵採取において、子宮角深部に精液注入が可能な深部注入器を使用することで受精率の向上を図り、黒毛和種性選別精液を用いた受精卵生産の効率化を検討しました。

2. 受精率の比較検討

通常注入器で人工授精した場合、性選別精液の受精率は通常精液と比較して、低い傾向でした。また、深部注入器で人工授精することによって、性選別精液の受精率を向上可能であることが示唆されました(表1)。

表1. 黒毛和種体内受精卵採取における各区の受精率

精液	注入器	回収卵数	受精卵数	受精率
通常	通常	128	114	89.1%
性選別	通常	160	112	70.0%
性選別	深部	231	175	75.8%

受精率：受精卵数／回収卵数

3. 正常卵率および正常卵に占めるA・A'ランク卵率の比較検討

通常注入器で人工授精した場合、性選別精液使用時の正常卵率および正常卵に占めるA・A'ランク卵率は通常精液使用時と比較して、有意に低いことが明らかとなりました。しかしながら、深部注入器で人工授精することで、性選別精液使用時の正常卵に占めるA・A'ランク卵率は向上可能であることが明らかとなりました(表2、3)。

表2. 黒毛和種体内受精卵採取における各区の正常卵率

精液	注入器	回収卵数	正常卵数	正常卵率
通常	通常	128	83	64.8% a
性選別	通常	160	75	46.9% b
性選別	深部	231	108	46.8% b

正常卵率：正常卵数／回収卵数, a-b:p<0.05

表3. 黒毛和種体内受精卵採取における各区の正常卵に占めるA・A'ランク卵率

精液	注入器	正常卵数	A・A'ランク卵数	正常卵に占めるA・A'ランク卵率
通常	通常	83	57	68.7% a
性選別	通常	75	41	54.7% b
性選別	深部	108	74	68.5% a

正常卵に占めるA・A'ランク卵率：A・A'ランク卵数／正常卵数, a-b:p<0.05

4. 受胎率の比較検討

通常精液を用いて生産した受精卵と性選別精液を用いて生産した受精卵との間で受胎率に差はなく、性選別精液を用いて生産した受精卵が問題なく使用可能であることが明らかとなりました(表4)。

表4. 通常精液および性選別精液を用いて生産した受精卵の受胎率

受精卵	移植頭数	受胎頭数	受胎率
通常	88	37	42.0%
性選別	12	5	41.7%

受胎率：受胎頭数／移植頭数

5. おわりに

本研究では、黒毛和種性選別精液を用いた体内胚採取において、深部注入器を使用することで、受精率が向上する傾向が認められました。また、正常卵に占めるA・A'ランクの割合を向上可能であることが明らかとなり、高ランクの受精卵をより効率的に生産することができると考えられます。深部注入器は既に市販されていることから、深部注入器による人工授精技術を習得すれば、庭先採卵等の農家段階で実践できます。ホルスタイン種においては、性選別精液を用いた体内胚採取に適した、授精適期や過剰排卵処理プログラムの検討等が行われていることから、黒毛和種においてさらなる受精率等の向上には、深部注入器の使用と併せた検討が必要であると考えられます。



第64回茨城県肉用牛共進会 中村公德さんが名誉賞を受賞!!

全国農業協同組合連合会 茨城県本部

茨城県肉用牛振興協会は11月30日～12月3日、東茨城郡茨城町の（株）茨城県中央食肉公社で「第64回茨城県肉用牛共進会」を開催しました。

今回は黒毛和種111頭（去勢100頭、雌11頭）が出品され、常陸牛に該当する4等級以上の格付比率は98.2%とハイレベルな共進会となりました。最高位となる名誉賞には中村公德さん（水戸市）が選ばれ、枝肉成績は枝肉重量623キロ、ロース芯面積82平方センチ、脂肪交雑（BMS）ナンバー12、枝肉単価4206円／キロ（税抜）となりました。



審査委員長を務めた茨城県畜産センター肉用牛研究所の館野英喜所長は、「出品牛は全体的に枝肉重量に富み、肉質の良い物が多く見受けられた。特に名誉賞牛は肉質・肉量はもちろん、ロース芯面積が充分にあり、コザシで質が良く、全体の厚みとバランスに優れた枝肉だった。」と評価しました。

3年ぶり3度目の名誉賞受賞となった中村さんは「チャンピオンになれたことは素直にうれしい。これからも手抜きをせずに今日のような牛を作り、今の調子を継続していきたい。」と笑顔で語りました。

名誉賞以外の上位入賞牛出品者は次のとおり（最優秀賞、優秀賞は全てA5、BMS12）
▽最優秀賞＝澁澤畜産（株）（去勢557.0キロ、3,000円）
▽優秀賞1席＝成島克己（去勢532.0キロ、3,132円）
▽同2席＝栗島喜好（去勢652.5キロ、2,852円）
▽同3席＝橋本畜産（株）（去勢505.0キロ、3,304円）
▽同4席＝安達政弘（去勢547.0キロ、3,037円）
▽同5席＝橋本畜産（株）（去勢587.0キロ、3,001円）
ほか優良賞8点。

令和2年11月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
11	一般子豚	11	20,240	20,240	20,240	50
	ベビー豚	202	20,680	1,320	15,002	35
25	一般子豚	40	20,460	19,470	19,872	50
	ベビー豚	164	20,900	8,800	17,311	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	88	1,119,800	361,900	635,950	293	2,167
		♂	103	1,101,100	622,600	794,798	319	2,488
		去計	191	1,119,800	361,900	721,612	307	2,347
		経産	11	575,300	289,300	437,600	—	—

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	36	976,800	441,100	711,272	282	2,517
		♂	0					
		去計	40	931,700	583,000	769,532	305	2,516
			76	976,800	441,100	741,935	294	2,516

食肉地方卸売市場

株式会社茨城県中央食肉公社

開催日			豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日					牛枝肉：毎週月曜日、木曜日				
畜種	項目		上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)						屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛		
豚	14,696.0	79.8	536	531	504	478	454	501	28,288	1,198		
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)				
和牛	A	358	400	485.5	2,628	2,391	2,115	1,450	—	2,445		
	B	31			2,440	2,257	1,894	1,106	797			
	C	11			—	—	894	819	897			
乳牛	A	—	187	302.4	—	—	—	—	—	656		
	B	15			—	—	—	776	739			
	C	172			—	—	774	717	601			
交雑牛	A	9	82	492.6	1,836	1,723	1,665	1,499	—	1,502		
	B	59			1,736	1,716	1,573	1,317	869			
	C	14			—	1,541	1,351	1,072	819			

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	4	133,100	48,400	105,050
		♂	109	185,900	30,800	117,488
		去計	0			
			113	185,900	30,800	117,048
	子牛	♀	0			
		♂	1	7,700	7,700	7,700
F1	スモール	♀	0			
		♂	69	209,000	27,500	140,768
		去計	83	266,200	56,100	177,100
			152	266,200	27,500	160,607
	子牛	♀	1	225,500	225,500	225,500
		♂	0			
黒毛和種	子牛	去計	0			
			1	225,500	225,500	225,500
		♀	1	392,700	392,700	392,700
		♂	3	605,000	496,100	561,733
		去計	1	110,000	110,000	110,000
			5	605,000	110,000	437,580

肉用子牛生産者補給金発動状況

令和2年度第3四半期(2020年10～12月)

○肉用子牛生産者補給金制度

(単位：円／頭)

区分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	541,000	498,000	320,000	164,000	274,000
合理化目標価格	429,000	395,000	253,000	110,000	216,000
平均売買価格	740,100	690,300	—	256,400	369,700
補給金単価	—	—	—	—	—

令和2年12月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
9	一般子豚	29	17,160	12,760	15,643	50
	ベビー豚	181	18,150	3,410	13,378	35
23	一般子豚	12	19,910	19,910	19,910	50
	ベビー豚	162	23,430	3,630	17,174	35

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	88	1,105,500	465,300	707,450	290	2,438
		♂	111	1,071,400	348,700	850,647	314	2,711
		去計	199	1,105,500	348,700	787,324	303	2,596
		経産	14	528,000	256,300	380,129	-	-

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀						
		♂						
		去計						

開催なし

食肉地方卸売市場

茨城県中央食肉公社

開催日		豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日										牛枝肉：毎週月曜日、木曜日			
項目 畜種	上場頭数			卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数				
	頭数	平均重量(kg)		極上	上	中	並	外	平均	豚	牛				
豚	15,535.0	78.4		552	530	502	461	422	495	28,054	1,009				
牛	頭数	平均重量(kg)		5	4	3	2	1	平均単価(円)						
和牛	A	366	410	499.4	2,751	2,513	2,164	1,288	－	2,568					
	B	29			2,452	2,356	1,765	1,071	902						
	C	15			－	－	－	949	809						
乳牛	A	－	146	314.9	－	－	－	－	－	643					
	B	13			－	－	－	753	709						
	C	133			－	－	734	685	595						
交雑牛	A	11	93	495.4	－	1,860	1,688	1,264	－	1,599					
	B	65			2,109	1,857	1,667	1,368	－						
	C	17			－	1,633	1,414	1,013	865						

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	4	152,900	13,200	88,275
		♂	98	166,100	11,000	120,910
		去計	102	166,100	11,000	119,630
	子牛	♀	0	66,000	66,000	66,000
F1	スモール	♀	0	66,000	66,000	66,000
		♂	0	66,000	66,000	66,000
		去計	1	66,000	66,000	66,000
	子牛	♀	2	220,000	198,000	209,000
黒毛和種	スモール	♀	58	270,600	46,200	182,012
		♂	72	292,600	27,500	205,899
		去計	130	292,600	27,500	195,242
	子牛	♀	2	220,000	198,000	209,000
3歳以上	♀	♂	0	220,000	198,000	209,000
		去計	1	165,000	165,000	165,000
		去計	1	165,000	165,000	165,000
	子牛	♀	0	308,000	308,000	308,000
3歳以上	♀	♂	1	308,000	308,000	308,000
		去計	1	308,000	308,000	308,000
		去計	1	308,000	308,000	308,000
	子牛	♀	4	570,900	228,800	474,375
3歳以上	♀	♂	0	570,900	228,800	474,375
		去計	4	570,900	228,800	474,375
		去計	0	515,900	515,900	515,900
	子牛	♀	1	515,900	515,900	515,900

牛マルキン発動状況

販売月	支払区分	肉専用種 (注)	交雑種	乳用種
令和2年11月	概算払単価	1,816.125円	75,365.6円	34,144.7円
令和2年10月	概算払単価	45,136.95円	127,468.4円	33,969.2円

※注 肉専用種については積立金不足で、国費分(4分の3相当額)で交付しているため、表示単価は4分の3相当額になっています。

四半期の最終月以外については、交付金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをしています。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)また、消費税抜きで算定されています。

◎算定基礎の詳細情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

肉用牛肥育経営安定交付金制度(牛マルキン改正内容)

(1) 生産者負担金の納付猶予ー新型コロナウイルス感染症対応ー

令和2年4月末から納付期限を迎える全ての登録肉用牛について当面の間、生産者負担金の納付が猶予されます。発動があった場合、猶予対象牛の実際に受け取る交付金額はおよそ4分の3となります。

(2) 算定方法の見直し

令和2年5月支払分(令和2年3月販売分)から交付金の算定方法が変わりました。

① 算定区域の見直し：標準的販売価格の算出について、今までの県別からブロック毎になります。

② もと畜費の見直し：もと畜費の算出に使用している「肉用子牛取引情報」について、近年の子牛の大型化が進む中、同情報のデータが340kg以下に限定されていることから実態が反映されていなかった。そこで体重制限を無くし日齢を182日から365日に変更し、より実態に即した素畜費となるようになりました。

令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会で 優秀賞・農林水産省生産局長賞を受賞

去る11月25日、東京都「ホテル東京ガーデンパレス」にて、(公社)中央畜産会主催による令和2年度全国優良畜産経営管理技術発表会(農林水産祭参加行事)が開催され、本協会が推薦した石岡市の武熊俊明氏は『地道なデータ蓄積と、常に前向きにチャレンジし続ける養豚経営』を発表し、優秀賞(農林水産省生産局長賞)を受賞されました。

(概要) 昭和58年、両親から養豚業を引き継ぎ、経営を開始。その後、肥育経営から一貫経営へ転換し、計画的に規模拡大を図るなど堅実に経営を行っております。また、経営開始当時から記帳を続け、そのデータを経営に活かすと共に、現在は、「常陸の輝き」の指定生産者として、経営を行っております。

母豚150頭規模の経営を家族労働力3人と技能実習生2名で行っており、明確な役割分担の下、週1日は休日が取れる経営を構築しております。



発表会の様子はYouTubeでも配信されていますので、ご興味のある方は検索してご覧になって下さい。

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部
下妻市亀崎4011-1 TEL/0296-43-1661
FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509
<http://www.morikubo.co.jp> <http://www.haccp.jp>

茨城県が誇る、霜降り牛肉



いばらきの高品質豚肉

ローズポーク
茨城県銘柄豚振興会

事務局
〒311-3155 東茨城郡茨城町下土師1950
全国農業協同組合連合会 茨城県本部内
TEL / 029-292-8004
FAX / 029-292-7743

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL/029(231)7501 FAX/029(222)2032

- 当協会に対する意見・要望
Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp
- 本紙への掲載「催事・各種情報」
Eメール kobayashi@ibachiku.com
- ホームページ
<http://ibaraki.lin.gr.jp>